

有限会社田中工業

■事業

鋼板切断機械の導入により加工能力を向上させ、
設備製作から修理までの包括的サービス提供を目指す

■対象類型

ものづくり技術

■導入機械装置

アマダ メカ式シャーリング DCT 3065

設計から製造、組み立て、据え付け、修理まで 技術力と誠実さで顧客から高い信頼

【経営理念】

お客さまの期待に応える、期待を超えた仕事をする

金属製品製造の田中工業は、1970(昭和45)年10月、加茂町で創業した。その4年後に現在地に工場を新築移転し、集塵装置などを手がけてきた。1988(昭和63)年に有限会社化し、工場を増築して営業種目の拡大を図ってきた。

創業者の田中正徳代表から事業を継承した現代表は、大学卒業後、島根県ポリテクセンターで溶接技術を学び、1998年から5年間、全国溶接技術競技会島根県大会の被覆アーク溶接部門で連続1位を、2005年にはCO₂半自動溶接部門で1位を獲得。いずれも全国大会に出場し、優秀賞など上位の受賞歴を持つ。14年、初代が会長に就くと同時に代表取締役役に就任した。

現在、製缶、配管工事、碎石プラントのほか、アスファルトや生コンのプラントをメインに、プラントメーカーや機械メーカーの協力会社として、設計・製造・修理・組み立て・据え付けまでトータルで受注しており、技術力と誠実さで顧客の信頼を得ている。

高機能シャーリングマシンの導入で 高精度で美しい鋼板切断を可能に

現在、規模の大きな仕事の5～6割を県外の手プラントメーカーから受注し、製作している。しかし、事業の伸展には、従来の製缶技術、組立設置・修理技術と併せ、大型プラント設備製作を充実させ、製作から修理までを包括的にサービス提供する準プラントメーカーを目指すことが不可欠だと考えた。

そのためには、精度の高い製品を製造することが求められ、補助事業で、金属の板材を金型で切断加工するアマダのメカ式シャーリングDCT3065を導入した。新制御方式の採用、鋼板溶接構造、ローラーガイド方式、クラス最小のシャープ角といった特徴を持ち、装置に差し込んだ大型の鉄板もたわむことなく高精度の切断が可能になり、作業スピードが向上した。



田中和伸 代表取締役



1 メカシャーリング

2 アスファルトプラントの組み立て作業

3 セメントサイロ製作



オリジナルのプラント製造を目標に さらなる技術の向上と効率化を目指す

新しいシャーリングマシンの導入は、特に円形に仕上げる製缶製造でその誤差が最小限に抑えられ、作業効率が格段に上がった。動作設定集約や高い機能性は、これまで培ってきたシャーリング技術を生かすことで大型設備に適した鋼板切断を可能にし、低コスト、効率化を図ることができた。結果、その他の作業に目を向ける余裕も生まれ、そこにさらなる製缶技術、組み立てや修理技術が加わることで、大型プラント設備についても製作、交換修理の可能性が広がった。

今後も大手メーカーから大型プラント設備製作の引き合いを獲得できる見込みだが、これからは各機械メーカーへの営業活動も展開する方針だ。将来に向けては、切断や加工試作を重ねることで課題をクリアしながら、自社オリジナルのプラント製造を実現することを目標に、さらなる技術の向上と効率化に挑む。

■Company Data

有限会社田中工業



田中工業

代表者名：田中 和伸
設立年：1970(昭和45)年
資本金：5,000千円
従業員数：7名
主たる業種：金属製品製造業
本社：〒699-1104 雲南市加茂町南加茂883-5
電話：0854-49-7517
FAX：0854-49-7838